

た。

ヒノキの間伐材で作られた積み木に、温もりを感じながら、保護者も交えて、上へ上へと高く積み上げたり、横に並べたり、また、途中で崩れて残念がったり、色々な子供たちの表情をみることができました。また、紙芝居でどのようにして積み木が作られたかなど、森林や木についての学習をしました。

親子で一つのものを作り上げることによって、親子のつながりをより強めることができたのではないかと考えています。

完成作品（講評）



積み木教室



九月二二日、大豊町内の上名山国有林（分収造林地）で実施された森林林業振興会と高知大学による「無人航空機（ドローン）の飛行実地試験」に参加しました。

この実地試験は、既設のシカ防護ネットの状況・状態撮影や造林地内における枯損木探索など、これからドローン活用方法や検証を目的に行われました。

当日の天候は雨で、霧も多く視界不良で、試験自

受けながら操作を体験しましたが、驚きの声と同時に、思ったより操作が簡単などの意見が出されていました。

今後国有林における活用方法として、シカによるネット破損や土砂流出等による支柱の傾きなどの点検、上空からの活着調査、除地確認、混合歩合の確認等、さまざまなことが考えられます。

影した映像をその場で確認し、映像は鮮明であり、シカ防護ネットの網目まで確認することができました。また、枯損木の探索に関しても、位置や枯れ具合などの状況を確認できました。

高知大学の学生も指導を受けています。

説明の様子



ネット点検の様子



若手技術者育成の取組 「治山技術研修」について

《総務課》

近年、全国的に集中豪雨等による大規模な山地災害が発生しています。

(所)の治山担当職員を対象に治山技術研修を開催しました。

このような状況の中、四国森林管理局では、被災森林の復旧はもとより予防も視野に治山工事の、「調査」「計画」「施工」等に係る技術力の向上に取り組んでいます。今回は、若手治山技術者の基礎的技術力の向上及び育成を目的とし、九月二六日から二八日の三日間、経験年数の短い各署

現地検討



注者綱紀保持などについて座学を行いました。研修生からは、「難しい法令規制の内容も多く、まだまだ時間をかけて知識と技術力を養っていきたい。」等の意見が出されていました。

二日目は、安芸森林管理署管内の民有林直轄治山事業施行地(平鍋地区)において、平成二六年に発生した大規模崩壊地下部の溪流を二班に分かれて踏査し、技術基準に基づく溪間工の配置について現地検討を行いました。

三日目は、二日目に現地で行った溪間工の配置を平面図、縦断面図に書き込

検討結果発表会



み、それぞれの班ごとに検討した結果のプレゼンを行いました。

発表時には局治山課職員も出席し、発表内容についての活発な意見交換が行われました。

今回のような集合研修は初めての取組ではありましたが、研修生自ら、現地の

地形や湧水の状況などを観察し、ダム工の配置を検討するなど有意義な機会となり、今後の現場業務の一助になれたものと実感しています。

各地のたより



森林教室「森林の働き」について

〈高知中部署〉

八月二六日、南国市白木谷小学校において同小学校の白木谷子供クラブ一四名による森林教室を実施しました。

最初に紙芝居によって森

林の役割や機能を説明し、

画像（マンガ）によって手

入れをしない山は下草等が

無くなり動物達も居なくな

ることや土砂崩れが発生す

ること等を説明し、森林が

重要な役割を果たしている

ことを児童達に説明しまし

た。

その後、児童達には山・

水に親しんでもらうため、

実際の山を想定した「森の働き模型」により、豊かな森林と荒廃した森林で雨が降った場合にどのような違いが起こるかという実験を行いました。

まず、模型の上からジョー

ロで水をかけると緑豊かな

山の場合、荒廃せず綺麗な

水が滴り、荒廃した山では

土砂崩れが発生し、泥水が

滴ると子供達から綺麗、汚

い等の声が上がりました。

次にペットボトルを使用

しての浸透実験では、緑豊

かな土壌では、ペットボト

ルの上から注いだ水が下に

浸透し、ペットボトルの下

から出てきたのに対し、そ

うで無い土壌では、水が浸

透せずペットボト

ルの上から溢れる

様子をみた児童達

は「こっちは下か

ら水が出んづく溜

まりゆうで（こっ

ちは下から水が出

ずに溜まってる

よ）」と興味津々に

丸太伐り体験



水の流れを真剣な眼差しで観察していました。

作り物のキノコやカブ

トムシ等を探し当てるネ

イチャーゲームでは、「こ

れ？」と友達同士で指を指

しながら笑い、和気藹々と

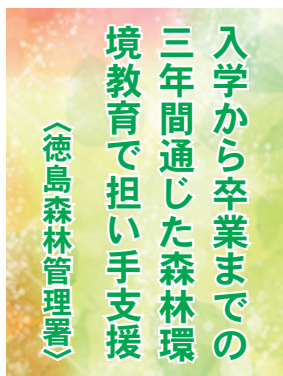
次々に探し出し、答え合わ

せでは、歓声が沸きながら

〇印を付けていきました。

また、丸太伐り体験では鋸を引くのは殆どが初めてで、最初は思うように伐れませんでした。友達の声援に答えながら伐り終え、丸太を持って帰る児童もいて、大変有意義な一日でした。

最後に各児童から森林の働きについての感想と児童代表からお礼の言葉を頂き終了しました。



徳島森林管理署では、徳島県が進める「新次元林業プロジェクト」の担い手対

策と協働することの一環として、徳島県立那賀高校に設置された「森林クリエイト科」の一年生20名を対象に、「森林の種類」、「世界と日本の森林」、「四国四県の森林」をテーマとした講義を、九月一四日に行いました。



熱心にメモを取り聞き入る高校生

この取組は、地域の担い手育成の支援を目的としており、現在の一年生が卒業するまでの三年間を通じて、各学期毎に一回のペースで計九回、学校で学ぶ専門教科を補完する分野を中心に系統的に、森林・林業・木材産業について

学んでもらう初めての取組です。

受講した生徒からは「地域の林業について学ぶことができた」「高校生でも理解できた」「質問形式で理解できた」などの意見が出されました。

また、先生からは「生徒だけでなく、私たち教員も

勉強になりました」との意見がありました。

なお、次回二学期の講義は、一二月一日に「森林の持つ多面的な機能について」と題して行う予定です。



講義をする崎川係員

行事・イベント情報

平成 28 年 10 月 8 日 (土)
緑の募金街頭活動 高知市中央公園

平成 28 年 10 月 12 日 (水)
第 2 回 無人航空機(ドローン)講習会
嶺北森林管理署管内

平成 28 年 10 月 21 日 (金)
四国森林管理局・高知大学連携協定締結式
四国森林管理局

平成 28 年 10 月 22 日 (土)
「第 12 回もくもくランド 2016 秋まつり」
高知市中央公園